

▼グラナテック点眼液 [外]

【重要度】 【一般製剤名】 リバスジル塩酸塩水和物 *ripasudil hydrochloride hydrate* 【分類】 緑内障・高眼圧症治療剤 [Rho キナーゼ阻害薬]

【単位】 ▼5mL/本 [0.4%]

【常用量】 1回1滴, 1日2回点眼

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1)

【特徴】 線維柱帯-シュレム管流出路に直接作用し、房水流出を増大させることにより眼圧を降下させる。他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合に選択される。

【主な副作用・毒性】 結膜充血, 結膜炎, 眼瞼炎, 霧視, 眼刺激症状, 角膜上皮障害, 眼の異常感, 発疹, 紅斑, 接触性皮炎など。長期投与においてアレルギー性結膜炎・眼瞼炎の発現頻度が高くなる傾向がある。

【F】

【tmax】 未変化体 : 0.25hr, M1 : 1.0hr (1)

【代謝】 アルデヒドオキシダーゼにより M1 へさらに M6 に代謝される経路がメイン (1) 他に CYP3A, 2C8 などが関与している (1) M1 の活性は未変化体の 1/3~1/9 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1.34%, M1 として尿中に 49%回収 [点眼, 48hr まで] (1) 【CL】 腎 CL は未変化体 : 7.112 ± 5.488 L/hr, M1 : 及び 17.516 ± 3.128 L/hr [点眼時] (1)

【t1/2】 未変化体 : 0.6hr, M1 : 2.7hr (1)

【蛋白結合率】 20~30% [Alb, AAG] (1)

【Vd】 1.6L/kg [ラット, iv] (1)

【MW】 395.88

【透析性】 資料なし (1) 半減期が短く、透析性は問題にならない (5)

【O/W 係数】

【備考】 ソフトコンタクトレンズ装着時の点眼お避ける

【更新日】 20170125

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。